

注3

大学番号：069

事前伺い

[平成28年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

香川大学大学院 医学系研究科

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 香川大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 医学部総務課

職名・氏名 課長補佐 ヨコガワ トシコ 横川 利子

電話番号 087-891-2007

（夜間） 087-891-2007

F A X 087-891-2016

e-mail syokacho@med.kagawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

香川大学大学院医学系研究科

	ページ
<医学専攻>	
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	32

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 香川大学

(2) 大学名

香川大学大学院

(3) 大学の位置

〒761-0793
香川県木田郡三木町大字池戸1750番地1
(〒760-8521
香川県高松市幸町1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ナガオ セイゴ) 長尾 省吾 (平成23年10月)	(カケヒ ヨシユキ) 筧 善行 (平成29年10月)	任期満了に伴い 平成29年10月1日交代 (30)
理事	(フジイ ヒロシ) 藤井 宏史 (平成25年10月)	(ヤマシタ トシアキ) 山下 明昭 (平成29年10月)	任期満了に伴い 平成29年10月1日交代 (30)
研究科長	(イマイダ カツミ) 今井田 克己 (平成26年 4月)	(ウエダ ナツオ) 上田 夏生 (平成29年10月)	任期満了に伴い 平成29年10月1日交代 (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
医学系研究科 医学専攻(博士課程) 博士(医学)	医学関係	4年	30人	120人	基礎となる学部等 医学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	平成28年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	30人 (-) [-]	- 人	30人 (-) [-]	- 人	30人 (-) [-]	- 人	1.04倍	
志願者数	36 (21) [5]	- (-) [-]	23 (15) [1]	- (-) [-]	35 (27) [3]	- (-) [-]		
受験者数	36 (21) [5]	- (-) [-]	23 (15) [1]	- (-) [-]	35 (27) [3]	- (-) [-]		
合格者数	36 (21) [5]	- (-) [-]	23 (15) [1]	- (-) [-]	35 (27) [3]	- (-) [-]		
B 入学者数	36 (21) [5]	- (-) [-]	23 (15) [1]	- (-) [-]	35 (27) [3]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.20		0.76		1.16			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	36 [5] (-)	— [-] (-)	23 [1] (-)	— [-] (-)	35 [3]	— [-]	
2年次	/		36 [5] (-)	— [-] (-)	23 [1] (-)	— [-] (-)	
3年次			/				36 [5] (-)
計	36 [5] (-)				59 [6] (-)		94 [9] (-)

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成28年度	36人	0人	平成28年度	0人	0人	
平成29年度	59人	0人	平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	94人	0人	平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
合計	189人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{36} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{59} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{94} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<大学院医学系研究科 医学専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	医科学概論	1前	2			11	3					
	医科学特論	1前	2			17	9					
	希少糖科学特論	1後	1			2	1					
	研究・生命倫理	1前	1			2						
専門科目	希少糖の機能	1-2通	4			1	1					
	発達神経科学	1-2通	4			2						
	分子形態学特論	1-2通	2			1	1					
	組織細胞科学特論	1-2通	4			1	1					
	神経細胞生物学特論	1-2通	4			1	1					
	神経生理学	1-2通	4			1	1					
	呼吸循環生理学	1-2通	4			1	1					
	循環生理シグナル伝達学	1-2通	4			1	1					
	薬理学特論	1-2通	4			1	1					
	脂質生物学	1-2通	4			1	1					
	酵素学実験法	1-2通	4			1	1					
	医用有機化学特論	1通	4			1						
	医用分析化学特論	2通	4			1						
	分子内分泌学	1-2通	4			1	1					
	核医学画像解析	1-2通	2				1					
	毒性病理学	1-2通	2			1	1					
	分子神経病理学	1-2通	4			2		1				
	免疫組織化学	1-2通	4			1		1				
	免疫制御学	1-2通	4			1						
	寄生虫学特論	1-2通	2				1					
	衛生動物学特論	1-2通	2				1					
	微生物ゲノム科学	1-2通	2			1						
	生活習慣病予防論	1-2通	2				1					
	臨床疫学	1前	1			1		1				
	生物統計学	1前	1			1		1				
	医療管理学	1後	1			1		1				
	健康危機管理論	2前	1			1		1				
	国際保健論	2後	1			1		1				
	法医学特論	1-2通	2			1						
	医学教育学特論	1-2通	2			1	1					
	遺伝情報解析学	1-2通	4			1	1					
	疾患ゲノム情報学	1-2通	4			1	1					
生体分子立体構造学	1-2通	2			1	1						
実験動物学・動物遺伝学	1-2通	2				1						
糖鎖構造解析	1-2通	2				1						
希少糖と生活習慣病	1-2通	2			1	1						
バイオイメージング技術の開発・応用	1通	2			1	1						
中耳・内耳バイオイメージング	2通	2			1	1						
形成外科におけるバイオイメージング	1-2通	2			1	1						

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	医科学概論	1前	2			11	2					
	医科学特論	1前	2			15	9					
	希少糖科学特論	1後	1			2	1					
	研究・生命倫理	1前	1			2						
専門科目	希少糖の機能	1-2通	4			2	0					
	発達神経科学	1-2通	4			2						
	分子形態学特論	1-2通	2			1	1					
	組織細胞科学特論	1-2通	4			1	1					
	神経細胞生物学特論	1-2通	4			1	1					
	神経生理学	1-2通	4			2	0					
	生体分子センサー特論	1-2通	4			1						
	呼吸循環生理学	1-2通	4			1	1					
	循環生理シグナル伝達学	1-2通	4			1	1					
	薬理学特論	1-2通	4			1	1					
	脂質生物学	1-2通	4			1	1					
	酵素学実験法	1-2通	4			1	1					
	医用有機化学特論	1通	4			1						
	医用分析化学特論	2通	4			1						
	分子内分泌学	1-2通	4			1	1					
	核医学画像解析	1-2通	2				1					
	毒性病理学	1-2通	2			1	1					
	分子神経病理学	1-2通	4			2		1				
	免疫組織化学	1-2通	4			1		1				
	免疫制御学	1-2通	4			1						
	寄生虫学特論	1-2通	2				1					
	衛生動物学特論	1-2通	2				1					
	微生物ゲノム科学	1-2通	2			1						
	生活習慣病予防論	1-2通	2				1					
	臨床疫学	1前	1			1		1	0			
	生物統計学	1前	1			1		1	0			
	医療管理学	1後	1			1		1	0			
	健康危機管理論	2前	1			1		1	0			
	国際保健論	2後	1			1		1	0			
	法医学特論	1-2通	2			1						
	医学教育学特論	1-2通	2			1	1					
	遺伝情報解析学	1-2通	4			1	1					
疾患ゲノム情報学	1-2通	4			1	1						
生体分子立体構造学	1-2通	2			1	1						
実験動物学・動物遺伝学	1-2通	2				1						
糖鎖構造解析	1-2通	2				1						
希少糖と生活習慣病	1-2通	2			2	0						
バイオイメージング技術の開発・応用	1通	2			1	1						
中耳・内耳バイオイメージング	2通	2			1	1						
形成外科におけるバイオイメージング	1-2通	2			1	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	細胞シグナル伝達学に基づくトランスレショナルリサーチ	1-2通	4		1	1					
	生活習慣病診断・治療の前臨床開発	1-2通	4		1	1					
	iPS細胞の応用	1-2通	2		1	1					
	糖鎖情報と臨床応用	1-2通	4		1	1					
	発がん機構	1-2通	2		1	1					
	免疫機能を調整する薬剤の開発	1-2通	4		1						
	微生物共生システムと応用	1-2通	2		1						
	健康測定・アセスメント	1-2通	2			1					
	医療経済・テクノロジーアセスメント	1前	1		1		1				
	医療政策論	1後	1		1		1				
	死因究明技術の開発	1-2通	2		1						
	タンパク質分子設計	1-2通	2		1	1					
	精神神経疾患の創薬科学	1-2通	4		1	1					
	臨床アウトカムとしてのQOL評価の応用	1前	1		1						
	臨床アウトカムとしての画像解析システム	1後	1		1						
	睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発	1-2通	4		1	1	1				
	認知症診断の技術研究	1-2通	4		1	1	1				
	脂質異常症と心血管病	1-2通	4		1	1					
	食塩感受性高血圧モデルの臨床応用	1-2通	2		1	1					
	周産期の脳発達と子供の健康	1通	4		2						
	高速液体クロマトグラフィーの臨床応用	2通	2		1	1					
	近赤外線分光法を用いた臨床研究	2通	2		1	1					
	骨軟部腫瘍研究の臨床応用	1-2通	4		1	1					
	前立腺がんの新規マーカーの開発	1通	2		1						
	低侵襲手術術式の開発	2通	2		1						
	癌とマイクロRNA	1通	2		1	1					
	癌と遺伝子異常	2通	2		1	1					
	分子イメージングの臨床応用	1-2通	4		1	1					
	動脈硬化症への遺伝子治療	1-2通	4		1	1					
	病理診断学の臨床応用	1-2通	4			1					
神経保護薬の臨床開発	1-2通	4		1	1						
医工融合による医療機器開発	1-2通	1		1	1						
救急・生体侵襲制御	1-2通	2		1							
希少糖医学	1前	1		1							
地域医療学	1後	1			1						
高齢者医療学	1前	1			1						
医療倫理	1前	1		2							
生活習慣病学	1後	1		1							
災害医療・災害医学	1後	1		1							
神経病学	1-2通	2		1	2						
脳神経外科学	1-2通	2		1	1						
運動器病学	1-2通	2		1	1						
精神病学	1-2通	4		1	1						
腎・泌尿器病学	1-2通	4		2	1						
感染症学	1-2通	2		1							
血液病学(血液・造血器・リンパ)	1-2通	2		2							
免疫・アレルギー疾患学	1-2通	2		1							
呼吸器病学	1-2通	4		2		1					
乳腺内分泌外科学	1-2通	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	細胞シグナル伝達学に基づくトランスレショナルリサーチ	1-2通	4		1	0					
	生活習慣病診断・治療の前臨床開発	1-2通	4		1	1					
	iPS細胞の応用	1-2通	2		1	1					
	糖鎖情報と臨床応用	1-2通	4		1	1					
	発がん機構	1-2通	2		1	1					
	免疫機能を調整する薬剤の開発	1-2通	4		1						
	微生物共生システムと応用	1-2通	2		1						
	健康測定・アセスメント	1-2通	2			1					
	医療経済・テクノロジーアセスメント	1前	1		1	1	0				
	医療政策論	1後	1		1	1	0				
	死因究明技術の開発	1-2通	2		1						
	タンパク質分子設計	1-2通	2		1	1					
	精神神経疾患の創薬科学	1-2通	4		1	1					
	臨床アウトカムとしてのQOL評価の応用	1前	1		1						
	臨床アウトカムとしての画像解析システム	1後	1		1						
	睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発	1-2通	4		1	1	1				
	認知症診断の技術研究	1-2通	4		1	1	1				
	脂質異常症と心血管病	1-2通	4		1	1					
	食塩感受性高血圧モデルの臨床応用	1-2通	2		1	1					
	周産期の脳発達と子供の健康	1通	4		2						
	高速液体クロマトグラフィーの臨床応用	2通	2		1	1					
	近赤外線分光法を用いた臨床研究	2通	2		1	1					
	骨軟部腫瘍研究の臨床応用	1-2通	4		1	1					
	前立腺がんの新規マーカーの開発	1通	2		1	0	1				
	低侵襲手術術式の開発	2通	2		1	0	1				
	癌とマイクロRNA	1通	2		1	1					
	癌と遺伝子異常	2通	2		1	1					
	分子イメージングの臨床応用	1-2通	4		1	1					
	動脈硬化症への遺伝子治療	1-2通	4		1	1					
	病理診断学の臨床応用	1-2通	4			1					
神経保護薬の臨床開発	1-2通	4		1	0	1					
医工融合による医療機器開発	1-2通	1		1	1						
救急・生体侵襲制御	1-2通	2		1							
臨床栄養・微生物学	1-2通	4			1						
希少糖医学	1前	1		1							
地域医療学	1後	1			1	0					
高齢者医療学	1前	1			1						
医療倫理	1前	1		2							
生活習慣病学	1後	1		1							
災害医療・災害医学	1後	1		1							
神経病学	1-2通	2		1	2						
脳神経外科学	1-2通	2		1	1						
運動器病学	1-2通	2		1	1						
精神病学	1-2通	4		1	1						
腎・泌尿器病学	1-2通	4		2	1						
感染症学	1-2通	2		1							
血液病学(血液・造血器・リンパ)	1-2通	2		2							
免疫・アレルギー疾患学	1-2通	2		1							
呼吸器病学	1-2通	4		2		1					
乳腺内分泌外科学	1-2通	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	消化器病学	1-2通		2		2	1					
	循環器病学	1-2通		2		2	2					
	母子周産期医学	1-2通		2		1	1					
	皮膚病学	1-2通		2		1						
	眼病学	1-2通		2		1	1					
	口腔病学	1-2通		2		1	1					
	頭頸部病学	1通		2		1	1					
	耳鼻咽喉疾患学	2通		2		1	1					
	放射線医学	1-2通		2		1	1					
	痛み学	1通		2		1						
	呼吸循環制御学	2通		2		1						
	小児科学	1-2通		2		1	1					
	内分泌代謝学	1通		2		1	1					
	糖尿病学	2通		2		1	1					
	救急救命医学	1-2通		2		1						
	形態機能学	1-2通		2		1	1					
	美学	1-2通		2		1						
専門科目	研究方法論応用	1前		4								
	・がん疫学論					3						
	・臨床研究論					2						
	・医療統計学						1					
	悪性腫瘍の管理と治療	1後										
	・検査、診断法概論					1	2	1				
	・治療法概論					5	1	1				
	・治療合併症、支持療法、緩和治療					1	1	3				
	・老年腫瘍学					1						
	・がんの心理社会的側面						1	1				
	医療倫理学・医療経済学	1-2通				4						
	医療対話学	1-2通				2	1	1				
	がんチーム医療実習	1-2通										
医療情報学(腫瘍学における情報システム)	1-2通				2		1					
がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学	2通		4		3		1					
臨床検査、病理、放射線診断学	2通				1	2	1					
臓器別がん治療各論	2通				7	8	3					
放射線治療法	2通		1		1							
がん緩和治療	2通				3	4	3					
臨床腫瘍学	2-3通		2		1							
放射線腫瘍学	2-3通		2		1							
課題研究	3-4通	8			-							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	消化器病学	1-2通		2		2	1					
	循環器病学	1-2通		2		2	2					
	母子周産期医学	1-2通		2		1	1					
	皮膚病学	1-2通		2		1						
	眼病学	1-2通		2		0	1					
	口腔病学	1-2通		2		1	1					
	頭頸部病学	1通		2		1	1					
	耳鼻咽喉疾患学	2通		2		1	1					
	放射線医学	1-2通		2		1	1					
	痛み学	1通		2		1						
	呼吸循環制御学	2通		2		1						
	小児科学	1-2通		2		1	1					
	内分泌代謝学	1通		2		1	1					
	糖尿病学	2通		2		1	1					
	救急救命医学	1-2通		2		1						
	形態機能学	1-2通		2		1	1					
	美学	1-2通		2		1						
	小児外科学	1-2通		4			1					
専門科目	研究方法論応用	1前		4								
	・がん疫学論					3						
	・臨床研究論					2						
	・医療統計学						1					
	悪性腫瘍の管理と治療	1後										
	・検査、診断法概論					1	2	1				
	・治療法概論					5	1	1				
	・治療合併症、支持療法、緩和治療					1	1	3				
	・老年腫瘍学					1						
	・がんの心理社会的側面						1	1				
	医療倫理学・医療経済学	1-2通				4						
	医療対話学	1-2通				2	1	1				
	がんチーム医療実習	1-2通										
医療情報学(腫瘍学における情報システム)	1-2通				2		1	0				
がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学	2通		4		3		1					
臨床検査、病理、放射線診断学	2通				1	2	1					
臓器別がん治療各論	2通				7	8	3					
放射線治療法	2通		1		1							
がん緩和治療	2通				3	4	3					
放射線治療法	2通		1		1							
臨床腫瘍学	2-3通		2		1							
放射線腫瘍学	2-3通		2		1							
課題研究	3-4通	8			-							

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	医科学概論	1前	2			11	3					
	医科学特論	1前	2			17	9					
	希少糖科学特論	1後	1			2	1					
	研究・生命倫理	1前	1			2						
専門科目	希少糖の機能	1-2通	4			1	1					
	発達神経科学	1-2通	4			2						
	分子形態学特論	1-2通	2			1	1					
	組織細胞科学特論	1-2通	4			1	1					
	神経細胞生物学特論	1-2通	4			1	1					
	神経生理学	1-2通	4			1	1					
	呼吸循環生理学	1-2通	4			1	1					
	循環生理シグナル伝達学	1-2通	4			1	1					
	薬理学特論	1-2通	4			1	1					
	脂質生物学	1-2通	4			1	1					
	酵素学実験法	1-2通	4			1	1					
	医用有機化学特論	1通	4			1						
	医用分析化学特論	2通	4			1						
	分子内分泌学	1-2通	4			1	1					
	核医学画像解析	1-2通	2				1					
	毒性病理学	1-2通	2			1	1					
	分子神経病理学	1-2通	4			2		1				
	免疫組織化学	1-2通	4			1		1				
	免疫制御学	1-2通	4			1						
	寄生虫学特論	1-2通	2				1					
	衛生動物学特論	1-2通	2				1					
	微生物ゲノム科学	1-2通	2			1						
	生活習慣病予防論	1-2通	2				1					
	臨床疫学	1前	1			1		1				
	生物統計学	1前	1			1		1				
	医療管理学	1後	1			1		1				
	健康危機管理論	2前	1			1		1				
	国際保健論	2後	1			1		1				
	法医学特論	1-2通	2			1						
	医学教育学特論	1-2通	2			1	1					
	遺伝情報解析学	1-2通	4			1	1					
	疾患ゲノム情報学	1-2通	4			1	1					
生体分子立体構造学	1-2通	2			1	1						
実験動物学・動物遺伝学	1-2通	2				1						
糖鎖構造解析	1-2通	2				1						
希少糖と生活習慣病	1-2通	2			1	1						
バイオイメージング技術の開発・応用	1通	2			1	1						
中耳・内耳バイオイメージング	2通	2			1	1						
形成外科におけるバイオイメージング	1-2通	2			1	1						
細胞シグナル伝達学に基づくトランスレショナルリサーチ	1-2通	4			1	1						
生活習慣病診断・治療の前臨床開発	1-2通	4			1	1						
iPS細胞の応用	1-2通	2			1	1						
糖鎖情報と臨床応用	1-2通	4			1	1						

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	医科学概論	1前	2			11	3					
	医科学特論	1前	2			17	9					
	希少糖科学特論	1後	1			2	1					
	研究・生命倫理	1前	1			2						
専門科目	希少糖の機能	1-2通	4			1	1					
	発達神経科学	1-2通	4			2						
	分子形態学特論	1-2通	2			1	1					
	組織細胞科学特論	1-2通	4			1	1					
	神経細胞生物学特論	1-2通	4			1	1					
	神経生理学	1-2通	4			1	1					
	呼吸循環生理学	1-2通	4			1	1					
	循環生理シグナル伝達学	1-2通	4			1	1					
	薬理学特論	1-2通	4			1	1					
	脂質生物学	1-2通	4			1	1					
	酵素学実験法	1-2通	4			1	1					
	医用有機化学特論	1通	4			1						
	医用分析化学特論	2通	4			1						
	分子内分泌学	1-2通	4			1	1					
	核医学画像解析	1-2通	2				1					
	毒性病理学	1-2通	2			1	1					
	分子神経病理学	1-2通	4			2		1				
	免疫組織化学	1-2通	4			1		1				
	免疫制御学	1-2通	4			1						
	寄生虫学特論	1-2通	2				1					
	衛生動物学特論	1-2通	2				1					
	微生物ゲノム科学	1-2通	2			1						
	生活習慣病予防論	1-2通	2				1					
	臨床疫学	1前	1			1		1				
	生物統計学	1前	1			1		1				
	医療管理学	1後	1			1		1				
	健康危機管理論	2前	1			1		1				
	国際保健論	2後	1			1		1				
	法医学特論	1-2通	2			1						
	医学教育学特論	1-2通	2			1	1					
	遺伝情報解析学	1-2通	4			1	1					
	疾患ゲノム情報学	1-2通	4			1	1					
生体分子立体構造学	1-2通	2			1	1						
実験動物学・動物遺伝学	1-2通	2				1						
糖鎖構造解析	1-2通	2				1						
希少糖と生活習慣病	1-2通	2			1	1						
バイオイメージング技術の開発・応用	1通	2			1	1						
中耳・内耳バイオイメージング	2通	2			1	1						
形成外科におけるバイオイメージング	1-2通	2			1	1						
細胞シグナル伝達学に基づくトランスレショナルリサーチ	1-2通	4			1	1						
生活習慣病診断・治療の前臨床開発	1-2通	4			1	1						
iPS細胞の応用	1-2通	2			1	1						
糖鎖情報と臨床応用	1-2通	4			1	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	発がん機構	1-2通	2		1	1					
	免疫機能を調整する薬剤の開発	1-2通	4		1						
	微生物共生システムと応用	1-2通	2		1						
	健康測定・アセスメント	1-2通	2			1					
	医療経済・テクノロジーアセスメント	1前	1		1		1				
	医療政策論	1後	1		1			1			
	死因究明技術の開発	1-2通	2		1						
	タンパク質分子設計	1-2通	2		1	1					
	精神神経疾患の創薬科学	1-2通	4		1	1					
	臨床アウトカムとしてのQOL評価の応用	1前	1		1						
	臨床アウトカムとしての画像解析システム	1後	1		1						
	睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発	1-2通	4		1	1	1				
	認知症診断の技術研究	1-2通	4		1	1	1				
	脂質異常症と心血管病	1-2通	4		1	1					
	食塩感受性高血圧モデルの臨床応用	1-2通	2		1	1					
	周産期の脳発達と子供の健康	1通	4		2						
	高速液体クロマトグラフィーの臨床応用	2通	2		1	1					
	近赤外線分光法を用いた臨床研究	2通	2		1	1					
	骨軟部腫瘍研究の臨床応用	1-2通	4		1	1					
	前立腺がんの新規マーカーの開発	1通	2		1						
	低侵襲手術術式の開発	2通	2		1						
	癌とマイクロRNA	1通	2		1	1					
	癌と遺伝子異常	2通	2		1	1					
	分子イメージングの臨床応用	1-2通	4		1	1					
	動脈硬化症への遺伝子治療	1-2通	4		1	1					
	病理診断学の臨床応用	1-2通	4			1					
	神経保護薬の臨床開発	1-2通	4		1	1					
	医工融合による医療機器開発	1-2通	1		1	1					
	救急・生体侵襲制御	1-2通	2		1						
	希少糖医学	1前	1		1						
地域医療学	1後	1		1	0						
高齢者医療学	1前	1			1						
医療倫理	1前	1		2							
生活習慣病学	1後	1		1							
災害医療・災害医学	1後	1		1							
神経病学	1-2通	2		1	2						
脳神経外科学	1-2通	2		1	1						
運動器病学	1-2通	2		1	1						
精神病学	1-2通	4		1	1						
腎・泌尿器病学	1-2通	4		2	1						
感染症学	1-2通	2		1							
血液病学(血液・造血器・リンパ)	1-2通	2		2							
免疫・アレルギー疾患学	1-2通	2		1							
呼吸器病学	1-2通	4		2		1					
乳腺内分泌外科学	1-2通	2			1						
消化器病学	1-2通	2		2	1						
循環器病学	1-2通	2		2	2						
母子周産期医学	1-2通	2		1	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	発がん機構	1-2通	2		1	1					
	免疫機能を調整する薬剤の開発	1-2通	4		1						
	微生物共生システムと応用	1-2通	2		1						
	健康測定・アセスメント	1-2通	2			1					
	医療経済・テクノロジーアセスメント	1前	1		1		1				
	医療政策論	1後	1		1			1			
	死因究明技術の開発	1-2通	2		1						
	タンパク質分子設計	1-2通	2		1	1					
	精神神経疾患の創薬科学	1-2通	4		1	1					
	臨床アウトカムとしてのQOL評価の応用	1前	1		1						
	臨床アウトカムとしての画像解析システム	1後	1		1						
	睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発	1-2通	4		1	1	1				
	認知症診断の技術研究	1-2通	4		1	1	1				
	脂質異常症と心血管病	1-2通	4		1	1					
	食塩感受性高血圧モデルの臨床応用	1-2通	2		1	1					
	周産期の脳発達と子供の健康	1通	4		2						
	高速液体クロマトグラフィーの臨床応用	2通	2		1	1					
	近赤外線分光法を用いた臨床研究	2通	2		1	1					
	骨軟部腫瘍研究の臨床応用	1-2通	4		1	1					
	前立腺がんの新規マーカーの開発	1通	2		1						
	低侵襲手術術式の開発	2通	2		1						
	癌とマイクロRNA	1通	2		1	1					
	癌と遺伝子異常	2通	2		1	1					
	分子イメージングの臨床応用	1-2通	4		1	1					
	動脈硬化症への遺伝子治療	1-2通	4		1	1					
	病理診断学の臨床応用	1-2通	4			1					
	神経保護薬の臨床開発	1-2通	4		1	0	1				
	医工融合による医療機器開発	1-2通	1		1	1					
	救急・生体侵襲制御	1-2通	2		1						
	臨床実習・微生物学	1-2通	4			1					
希少糖医学	1前	1		1							
地域医療学	1後	1		1	0						
高齢者医療学	1前	1			1						
医療倫理	1前	1		2							
生活習慣病学	1後	1		1							
災害医療・災害医学	1後	1		1							
神経病学	1-2通	2		1	2						
脳神経外科学	1-2通	2		1	1						
運動器病学	1-2通	2		1	1						
精神病学	1-2通	4		1	1						
腎・泌尿器病学	1-2通	4		2	1						
感染症学	1-2通	2		1							
血液病学(血液・造血器・リンパ)	1-2通	2		2							
免疫・アレルギー疾患学	1-2通	2		1							
呼吸器病学	1-2通	4		2		1					
乳腺内分泌外科学	1-2通	2			1						
消化器病学	1-2通	2		2	1						
循環器病学	1-2通	2		2	2						
母子周産期医学	1-2通	2		1	1						

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	皮膚病学	1-2通		2		1						
	眼病学	1-2通		2		1	1					
	口腔病学	1-2通		2		1	1					
	頭頸部病学	1通		2		1	1					
	耳鼻咽喉疾患学	2通		2		1	1					
	放射線医学	1-2通		2		1	1					
	痛み学	1通		2		1						
	呼吸循環制御学	2通		2		1						
	小児科学	1-2通		2		1	1					
	内分泌代謝学	1通		2		1	1					
	糖尿病学	2通		2		1	1					
	救急救命医学	1-2通		2		1						
	形態機能学	1-2通		2		1	1					
	薬学	1-2通		2		1						
	研究方法論応用	1前		4								
	・がん疫学論					3						
	・臨床研究論					2						
	・医療統計学						1					
	悪性腫瘍の管理と治療	1後										
	・検査、診断法概論					1	2	1				
・治療法概論					5	1	1					
・治療合併症、支持療法、緩和治療					1	1	3					
・老年腫瘍学					1							
・がんの心理社会的側面						1	1					
医療倫理学・医療経済学	1-2通				4							
医療対話学	1-2通				2	1	1					
がんチーム医療実習	1-2通											
医療情報学(腫瘍学における情報システム)	1-2通				2		1					
がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学	2通				4		3		1			
臨床検査、病理、放射線診断学	2通				1	2	1					
臓器別がん治療各論	2通				7	8	3					
放射線治療法	2通				1		1					
がん緩和治療	2通				3	4	3					
臨床腫瘍学	2-3通				2		1					
放射線腫瘍学	2-3通				2		1					
課題研究	3-4通		8									

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	皮膚病学	1-2通		2		1						
	眼病学	1-2通		2		0	1					
	口腔病学	1-2通		2		1	1					
	頭頸部病学	1通		2		1	1					
	耳鼻咽喉疾患学	2通		2		1	1					
	放射線医学	1-2通		2		1	1					
	痛み学	1通		2		1						
	呼吸循環制御学	2通		2		1						
	小児科学	1-2通		2		1	1					
	内分泌代謝学	1通		2		1	1					
	糖尿病学	2通		2		1	1					
	救急救命医学	1-2通		2		1						
	形態機能学	1-2通		2		1	1					
	薬学	1-2通		2		1						
	小児外科学	1-2通		4			1					
	研究方法論応用	1前		4								
	・がん疫学論					3						
	・臨床研究論					2						
	・医療統計学						1					
	悪性腫瘍の管理と治療	1後										
・検査、診断法概論					1	2	1					
・治療法概論					5	1	1					
・治療合併症、支持療法、緩和治療					1	1	3					
・老年腫瘍学					1							
・がんの心理社会的側面						1	1					
医療倫理学・医療経済学	1-2通				4							
医療対話学	1-2通				2	1	1					
がんチーム医療実習	1-2通											
医療情報学(腫瘍学における情報システム)	1-2通				2		1					
がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学	2通				4		3		1			
臨床検査、病理、放射線診断学	2通				1	2	1					
臓器別がん治療各論	2通				7	8	3					
放射線治療法	2通				1		1					
がん緩和治療	2通				3	4	3					
放射線治療法	2通				1		1					
臨床腫瘍学	2-3通				2		1					
放射線腫瘍学	2-3通				2		1					
課題研究	3-4通		8									

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・記載に過誤があったため、「地域医療学」の担当専任教員を准教授から教授に修正。

【平成29年度】

- ・担当教員辞任のため、「医科学特論」の専任教員等の配置を変更。(教授17→16)
- ・担当教員辞任のため、「神経保護薬の臨床開発」の専任教員等の配置を変更。(教授1→0)
- ・教育課程の充実のため、「臨床栄養・微生物学」の科目を追加、専任教員(准教授1)を追加。
- ・担当教員辞任のため、「眼病学」の専任教員等の配置を変更。(教授1→0)
- ・教育課程の充実のため、「小児外科学」の科目を追加、専任教員(准教授1)を1名追加。
- ・コンソーシアムと調整を行い、「放射線治療法」(教授1)の科目分類を変更。

【平成30年度】

- ・担当教員退職のため、「医科学概論」の専任教員等の配置を変更。(准教授3→2)
- ・担当教員退職のため、「医科学特論」の専任教員等の配置を変更。(教授16→15)
- ・担当教員退職のため、「希少糖の機能」の専任教員等の配置を変更。(教授1、准教授1→教授2、准教授0)
- ・担当教員退職のため、「神経生理学」の専任教員等の配置を変更。(教授1、准教授1→教授2、准教授0)
- ・教育課程の充実のため、「生体分子センサー特論」の科目を追加、専任教員(教授1)を追加。
- ・担当教員退職のため、「臨床疫学」、「生物統計学」、「医療管理学」、「健康危機管理論」、「国際保健論」、「医療経済・テクノロジーアセスメント」、「医療政策論」、「医療情報学(腫瘍学における情報システム)」の専任教員等の配置を変更。(准教授0、講師1→准教授1、講師0)
- ・担当教員退職のため、「希少糖と生活習慣病」の専任教員等の配置を変更。(教授1、准教授1→教授2、准教授0)
- ・担当教員退職のため、「細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ」の専任教員等の配置を変更。(准教授1→0)
- ・担当教員退職のため、「前立腺がんの新規マーカーの開発」、「低侵襲手術術式の開発」の専任教員等の配置を変更。(教授1、准教授0→教授0、准教授1)

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
5 科目	118 科目	0 科目	123 科目	5 科目 [0]	121 科目 [3]	0 科目 [0]	126 科目 [3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 [該当なし]

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	未開講科目なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 [該当なし]

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	廃止科目なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{123} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考						
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地の内、10,148㎡ を香川県より借用（毎年 更新） 医学部団地にて駐車場整 備の為、校舎敷地減(30) 上記に加え、花園町・上 之町団地の面積増(30)						
	校舎敷地	165,625㎡ 165,905㎡	0㎡	0㎡	165,625㎡ 165,905㎡							
	運動場用地	80,981㎡	0㎡	0㎡	80,981㎡							
	小 計	246,606㎡ 246,886㎡	0㎡	0㎡	246,606㎡ 246,886㎡							
	そ の 他	704,405㎡ 701,682㎡	0㎡	0㎡	704,405㎡ 701,682㎡							
	合 計	951,011㎡ 948,568㎡	0㎡	0㎡	951,011㎡ 948,568㎡							
(2) 校 舎	専 用	170,034㎡ 169,733㎡	0㎡	0㎡	170,034㎡ 169,733㎡	使途変更による面積の増 減(30)						
	(170,034㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(170,034㎡)								
(3) 教 室 等	講 義 室	2室	演 習 室	9室	実験実習室	40室	情報処理学習施設	2室	語学学習施設	0室	(補助職員 0 人)	(補助職員 0 人)
	(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数						
		医学系研究科 医学専攻（博士課程）			86 室							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	大学全体				
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル								
		冊	種	[うち外国書]	点	点	点					
		医学系研究科 医学専攻	868,430 [268,272] 862,956 [267,884] (868,430 [268,272]) (862,956 [267,884])	25,545 [7,342] 22,992 [7,010] (25,545 [7,342]) (22,992 [7,010])	5,566 [4,180] 5,357 [4,155] (5,566 [4,180]) (5,357 [4,155])	9,120 10,203 (9,120) (10,203)	0 (0)					
計	868,430 [268,272] 862,956 [267,884] (868,430 [268,272]) (862,956 [267,884])	25,545 [7,342] 22,992 [7,010] (25,545 [7,342]) (22,992 [7,010])	5,566 [4,180] 5,357 [4,155] (5,566 [4,180]) (5,357 [4,155])	9,120 10,203 (9,120) (10,203)	0 (0)	1,033 (1,033)						
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体					
	11,506㎡		966席936席		1,104,000冊 1,098,194冊							
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体				
	5,577㎡ 5,571㎡		運動場 5面		テニスコート 14面							
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度				
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円				
		共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円				
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次					
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円					
学生納付金以外の維持方法の概要		—										

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	香川大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	160	-	640	学士 (教育学)	1.01	平成15年度	香川県高松市幸町1番1号	
人間発達環境課程	4	-	-	-	学士 (教養学)	-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
法学部									
(昼夜開講制)									上段は昼間コース、下段は夜間主コース
法学科(昼)	4	150	3年次10	620	学士 (法学)	1.07	平成15年度	香川県高松市幸町2番1号	
(夜)		10	-	40		0.55	平成15年度	同上	
経済学部									
(昼夜開講制)									上段は昼間コース、下段は、夜間主コース
経済学科(昼)	4	-	-	-	学士 (経済学)	-	平成15年度	香川県高松市幸町2番1号	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
経営システム学科(昼)	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
地域社会システム学科(昼)	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
経済学科(昼)	4	240	3年次20	1,000	学士 (経済学)	1.05	平成30年度	香川県高松市幸町2番1号	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
(夜)		10	-	40		0.50	平成30年度	同上	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
医学部									
医学科	6	109	2年次5	623	学士 (医学)	1.00	平成15年度	香川県木田郡三木町大字池戸1750番地1	平成21・22・24・25・30年度入学定員増による学年進行
看護学科	4	60	3年次10	260	学士 (看護学)	1.03	平成15年度	同上	
臨床心理学科	4	20	-	80	学士 (臨床心理学)	1.00	平成30年度	同上	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
創造工学部									
創造工学科	4	330	3年次20	1,360	学士 (工学)	1.05	平成30年度	香川県高松市林町2217番地20	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
工学部									
安全システム建設工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成15年度	香川県高松市林町2217番地20	平成30年より学生募集停止
信頼性情報システム工学科	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成24年より学生募集停止
電子・情報工学科	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
知能機械システム工学科	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
材料創造工学科	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止

大学の名称	香川大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
農学部 応用生物科学科	4	150	-	600	学士 (農学)	1.04	平成18年度	香川県木田郡三木町 大字池戸2393番地	
教育学研究科 修士課程									
学校教育専攻	2	12	-	24	修士 (教育学)	0.70	平成15年度	香川県高松市幸町1 番1号	
教科教育専攻	2	18	-	36		0.49	平成15年度	同上	
学校臨床心理専攻	2	7	-	14		0.71	平成15年度	同上	
専門職学位課程 高度教職実践専攻	2	14	-	28	教職修士 (専門職)	0.99	平成28年度	同上	
法学研究科 修士課程									
法律学専攻	2	8	-	16	修士 (法学)	0.68	平成15年度	香川県高松市幸町2 番1号	
経済学研究科 修士課程									
経済学専攻	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.80	平成15年度	香川県高松市幸町2 番1号	
医学系研究科 修士課程									
看護学専攻	2	16	-	32	修士 (看護学)	0.55	平成15年度	香川県木田郡三木町 大字池戸1750番地1	
博士課程 機能構築医学専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-	平成15年度	同上	平成28年より学生 募集停止
分子情報制御医学専攻	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成28年より学生 募集停止
社会環境病態医学専攻	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成28年より学生 募集停止
医学専攻	4	30	-	120		1.04	平成28年度	同上	平成27年度事前伺い 平成28年4月設置
工学研究科 博士前期課程									
安全システム建設工学専攻	2	18	-	36	修士 (工学)	0.74	平成15年度	香川県高松市林町 2217番地20	
信頼性情報システム工学 専攻	2	24	-	48		1.45	平成15年度	同上	
知能機械システム工学専攻	2	18	-	36		1.55	平成15年度	同上	
材料創造工学専攻	2	18	-	36		2.02	平成15年度	同上	
博士後期課程									
安全システム建設工学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.33	平成16年度	同上	
信頼性情報システム工学 専攻	3	7	-	21		0.09	平成16年度	同上	
知能機械システム工学専攻	3	5	-	15		0.73	平成16年度	同上	
材料創造工学専攻	3	5	-	15		0.46	平成16年度	同上	

大学の名称	香川大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
農学研究科									
修士課程									
生物資源生産学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	平成18年度	香川県木田郡三木町 大字池戸2393番地	平成30年より学生 募集停止
生物資源利用学専攻	2	-	-	-		-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止
希少糖科学専攻	2	-	-	-		-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止
応用生物・希少糖科学専攻	2	60	-	120	修士 (農学)	0.95	平成30年度	同上	平成29年度事前伺い 平成30年4月設置
地域マネジメント研究科									
専門職学位課程									
地域マネジメント 専攻	2	30	-	60	経営修士 (専門職)	0.93	平成16年度	香川県高松市幸町2 番1号	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず, 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医学研究科 医学専攻（博士課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成28年度】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	三木 崇範 <平成28年4月> 医科学概論 医科学特論 研究・生命倫理 発達神経科学 分子神経病理学 周産期の脳発達と子供の健康 医療倫理 医療倫理学・医療経済学 課題研究	専	教授	三木 崇範 <平成28年4月> 医科学概論 医科学特論 研究・生命倫理 発達神経科学 分子神経病理学 周産期の脳発達と子供の健康 医療倫理 医療倫理学・医療経済学 課題研究	専	教授	三木 崇範 <平成28年4月> 医科学概論 医科学特論 研究・生命倫理 発達神経科学 分子神経病理学 周産期の脳発達と子供の健康 医療倫理 医療倫理学・医療経済学 課題研究	専	教授	三木 崇範 <平成28年4月> 発達神経科学 分子神経病理学 周産期の脳発達と子供の健康 医療倫理 医療倫理学・医療経済学 課題研究
専	教授	荒木 伸一 <平成28年4月> 医科学特論 分子形態学特論 組織細胞科学特論 バイオイメージング技術の開発・応用 課題研究	専	教授	荒木 伸一 <平成28年4月> 医科学特論 分子形態学特論 組織細胞科学特論 バイオイメージング技術の開発・応用 課題研究	専	教授	荒木 伸一 <平成28年4月> 医科学特論 分子形態学特論 組織細胞科学特論 バイオイメージング技術の開発・応用 課題研究	専	教授	荒木 伸一 <平成28年4月> 医科学特論 分子形態学特論 組織細胞科学特論 バイオイメージング技術の開発・応用 課題研究
専	准教授	三宅 克也 <平成28年4月> 分子形態学特論 組織細胞科学特論 バイオイメージング技術の開発・応用									
専	教授	徳田 雅明 <平成28年4月> 医科学概論 医科学特論 希少糖科学特論 希少糖の機能 神経生理学 希少糖と生活習慣病 課題研究	専	教授	徳田 雅明 <平成28年4月> 医科学概論 医科学特論 希少糖科学特論 希少糖の機能 神経生理学 希少糖と生活習慣病 課題研究	専	教授	徳田 雅明 <平成28年4月> 医科学概論 医科学特論 希少糖科学特論 希少糖の機能 神経生理学 希少糖と生活習慣病 課題研究			
専	准教授	山口 文徳 <平成28年4月> 医科学特論 希少糖科学特論 希少糖の機能 神経生理学 希少糖と生活習慣病	専	准教授	山口 文徳 <平成28年4月> 医科学特論 希少糖科学特論 希少糖の機能 神経生理学 希少糖と生活習慣病	専	准教授	山口 文徳 <平成28年4月> 医科学特論 希少糖科学特論 希少糖の機能 神経生理学 希少糖と生活習慣病			
専	教授	平野 勝也 <平成28年4月> 医科学特論 呼吸循環生理学 循環生理シグナル伝達学 細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ 課題研究	専	教授	平野 勝也 <平成28年4月> 医科学特論 呼吸循環生理学 循環生理シグナル伝達学 細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ 課題研究	専	教授	平野 勝也 <平成28年4月> 医科学特論 呼吸循環生理学 循環生理シグナル伝達学 細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ 課題研究	専	教授	平野 勝也 <平成28年4月> 医科学特論 呼吸循環生理学 循環生理シグナル伝達学 細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ 課題研究
専	准教授	五十嵐 淳介 <平成28年4月> 医科学特論 循環生理シグナル伝達学 細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ	専	准教授	五十嵐 淳介 <平成28年4月> 医科学特論 循環生理シグナル伝達学 細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ						
専	教授	上田 夏生 <平成28年4月> 医科学特論 脂質生物学 酵素学実験法 課題研究	専	教授	上田 夏生 <平成28年4月> 医科学特論 脂質生物学 酵素学実験法 課題研究	専	教授	上田 夏生 <平成28年4月> 医科学特論 脂質生物学 酵素学実験法 課題研究	専	教授	上田 夏生 <平成28年4月> 医科学特論 脂質生物学 酵素学実験法 課題研究
専	准教授	大西 平 <平成28年4月> 脂質生物学 酵素学実験法	専	准教授	大西 平 <平成28年4月> 脂質生物学 酵素学実験法	専	准教授	大西 平 <平成28年4月> 脂質生物学 酵素学実験法	専	准教授	大西 平 <平成28年4月> 脂質生物学 酵素学実験法
専	教授	中村 隆範 <平成28年4月> 医科学概論 分子内分沁学 糖鎖情報と臨床応用 課題研究	専	教授	中村 隆範 <平成28年4月> 医科学概論 分子内分沁学 糖鎖情報と臨床応用 課題研究	専	教授	中村 隆範 <平成28年4月> 医科学概論 分子内分沁学 糖鎖情報と臨床応用 課題研究	専	教授	中村 隆範 <平成28年4月> 医科学概論 分子内分沁学 糖鎖情報と臨床応用 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	今井田 克己 <平成28年4月>
		毒性病理学 発がん機構 がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 課題研究
専	准教授	横平 政直 <平成28年4月>
		毒性病理学 発がん機構
専	教授	上野 正樹 <平成28年4月>
		医科学特論 分子神経病理学 免疫組織化学 課題研究
専	講師	千葉 陽一 <平成28年4月>
		分子神経病理学 免疫組織化学 検査、診断法概論 治療合併症、支持療法、緩和治療 臨床検査、病理、放射線診断学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療
専	教授	星野 克明 <平成28年4月>
		医科学概論 医科学特論 免疫制御学 免疫機能を調整する薬剤の開発 課題研究
専	准教授	新井 明治 <平成28年4月>
		寄生虫学特論 衛生動物学特論 課題研究
専	教授	西山 成 <平成28年4月>
		医科学特論 研究・生命倫理 薬理学特論 生活習慣病診断・治療の前臨床開発 iPS細胞の応用 腎・泌尿器病学 臨床研究論 がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 課題研究
専	教授	竹崎 直子 <平成28年4月>
		医科学特論 遺伝情報解析学 疾患ゲノム情報学 がん疫学論 課題研究
専	准教授	岩間 久和 <平成28年4月>
		医科学特論 遺伝情報解析学 疾患ゲノム情報学 課題研究
専	教授	神鳥 成弘 <平成28年4月>
		医科学概論 医科学特論 生体分子立体構造学 タンパク質分子設計 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	今井田 克己 <平成28年4月>
		毒性病理学 発がん機構 がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 課題研究
専	准教授	横平 政直 <平成28年4月>
		毒性病理学 発がん機構 分子形態学特論 組織細胞科学特論 バイオイメージング 技術の開発・応用
専	教授	上野 正樹 <平成28年4月>
		医科学特論 分子神経病理学 免疫組織化学 課題研究
専	講師	千葉 陽一 <平成28年4月>
		分子神経病理学 免疫組織化学
専	教授	星野 克明 <平成28年4月>
		医科学概論 医科学特論 免疫制御学 免疫機能を調整する薬剤の開発 課題研究
専	准教授	新井 明治 <平成28年4月>
		寄生虫学特論 衛生動物学特論 課題研究
専	教授	西山 成 <平成28年4月>
		医科学特論 研究・生命倫理 薬理学特論 生活習慣病診断・治療の前臨床開発 iPS細胞の応用 腎・泌尿器病学 臨床研究論 がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 課題研究
専	教授	竹崎 直子 <平成28年4月>
		医科学特論 遺伝情報解析学 疾患ゲノム情報学 がん疫学論 課題研究
専	准教授	岩間 久和 <平成28年4月>
		医科学特論 遺伝情報解析学 疾患ゲノム情報学 課題研究
専	教授	神鳥 成弘 <平成28年4月>
		医科学概論 医科学特論 生体分子立体構造学 タンパク質分子設計 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	今井田 克己 <平成28年4月>
		毒性病理学 発がん機構 がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 課題研究
専	准教授	横平 政直 <平成28年4月>
		毒性病理学 発がん機構 分子形態学特論 組織細胞科学特論 バイオイメージング 技術の開発・応用
専	教授	上野 正樹 <平成28年4月>
		医科学特論 分子神経病理学 免疫組織化学 課題研究
専	講師	千葉 陽一 <平成28年4月>
		分子神経病理学 免疫組織化学
専	教授	星野 克明 <平成28年4月>
		医科学概論 医科学特論 免疫制御学 免疫機能を調整する薬剤の開発 課題研究
専	准教授	新井 明治 <平成28年4月>
		寄生虫学特論 衛生動物学特論 課題研究
専	教授	西山 成 <平成28年4月>
		医科学特論 研究・生命倫理 薬理学特論 生活習慣病診断・治療の前臨床開発 iPS細胞の応用 腎・泌尿器病学 臨床研究論 がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 課題研究
専	教授	竹崎 直子 <平成28年4月>
		医科学特論 遺伝情報解析学 疾患ゲノム情報学 がん疫学論 課題研究
専	准教授	岩間 久和 <平成28年4月>
		医科学特論 遺伝情報解析学 疾患ゲノム情報学 課題研究
専	教授	神鳥 成弘 <平成28年4月>
		医科学概論 医科学特論 生体分子立体構造学 タンパク質分子設計 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	今井田 克己 <平成28年4月>
		毒性病理学 発がん機構 がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 課題研究
専	准教授	横平 政直 <平成28年4月>
		毒性病理学 発がん機構 分子形態学特論 組織細胞科学特論 バイオイメージング技術 の開発・応用
専	教授	上野 正樹 <平成28年4月>
		医科学特論 分子神経病理学 免疫組織化学 課題研究
専	講師	千葉 陽一 <平成28年4月>
		分子神経病理学 免疫組織化学
専	教授	星野 克明 <平成28年4月>
		医科学概論 医科学特論 免疫制御学 免疫機能を調整する薬剤の開発 課題研究 希少種科学特論 希少種の機能 希少種と生活習慣病
専	准教授	新井 明治 <平成28年4月>
		寄生虫学特論 衛生動物学特論 課題研究 希少種科学特論 医科学特論
専	教授	西山 成 <平成28年4月>
		医科学特論 研究・生命倫理 薬理学特論 生活習慣病診断・治療の前臨床開発 iPS細胞の応用 腎・泌尿器病学 臨床研究論 がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 課題研究 希少種の機能 希少種と生活習慣病
専	教授	竹崎 直子 <平成28年4月>
		医科学特論 遺伝情報解析学 疾患ゲノム情報学 がん疫学論 課題研究
専	准教授	岩間 久和 <平成28年4月>
		医科学特論 遺伝情報解析学 疾患ゲノム情報学 課題研究
専	教授	神鳥 成弘 <平成28年4月>
		医科学概論 医科学特論 生体分子立体構造学 タンパク質分子設計 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	吉田 裕美 <平成28年4月>	専	准教授	吉田 裕美 <平成28年4月>	専	准教授	吉田 裕美 <平成28年4月>	専	准教授	吉田 裕美 <平成28年4月>
		医学科学特論 生体分子立体構造学 タンパク質分子設計 課題研究			医学科学特論 生体分子立体構造学 タンパク質分子設計 課題研究			医学科学特論 生体分子立体構造学 タンパク質分子設計 課題研究			医学科学特論 生体分子立体構造学 タンパク質分子設計 課題研究
専	准教授	西 望 <平成28年4月>	専	准教授	西 望 <平成28年4月>	専	准教授	西 望 <平成28年4月>	専	准教授	西 望 <平成28年4月>
		医学科学概論 医学科学特論 分子内分生物学 糖鎖情報と臨床応用 課題研究			医学科学概論 医学科学特論 分子内分生物学 糖鎖情報と臨床応用 課題研究			医学科学概論 医学科学特論 分子内分生物学 糖鎖情報と臨床応用 課題研究 細胞シグナル伝達学 に基づくトランス レーショナルリサー チ			
専	准教授	宮下 信泉 <平成28年4月>	専	准教授	宮下 信泉 <平成28年4月>	専	准教授	宮下 信泉 <平成28年4月>	専	准教授	宮下 信泉 <平成28年4月>
		医学科学概論 神経細胞生物学特論 実験動物学・動物遺伝学 精神神経疾患の創薬科学 課題研究			医学科学概論 神経細胞生物学特論 実験動物学・動物遺伝学 精神神経疾患の創薬科学 課題研究			医学科学概論 神経細胞生物学特論 実験動物学・動物遺伝学 精神神経疾患の創薬科学 課題研究			医学科学概論 神経細胞生物学特論 実験動物学・動物遺伝学 精神神経疾患の創薬科学 課題研究
専	准教授	中北 慎一 <平成28年4月>	専	准教授	中北 慎一 <平成28年4月>	専	准教授	中北 慎一 <平成28年4月>	専	准教授	中北 慎一 <平成28年4月>
		糖鎖構造解析 課題研究			糖鎖構造解析 課題研究			糖鎖構造解析 課題研究 医学科学特論			糖鎖構造解析 課題研究 医学科学特論 糖鎖情報と臨床応用
専	教授	桑原 知巳 <平成28年4月>	専	教授	桑原 知巳 <平成28年4月>	専	教授	桑原 知巳 <平成28年4月>	専	教授	桑原 知巳 <平成28年4月>
		微生物ゲノム科学 微生物共生システムと応用 課題研究			微生物ゲノム科学 微生物共生システムと応用 課題研究			微生物ゲノム科学 微生物共生システムと応用 課題研究			微生物ゲノム科学 微生物共生システムと応用 課題研究
専	准教授	宮武 伸行 <平成28年4月>	専	准教授	宮武 伸行 <平成28年4月>	専	准教授	宮武 伸行 <平成28年4月>	専	准教授	宮武 伸行 <平成28年4月>
		医学科学特論 生活習慣病予防論 生活習慣病診断・治療の前臨床開 発 健康測定・アセスメント 医療統計学 課題研究			医学科学特論 生活習慣病予防論 生活習慣病診断・治療の前臨床開 発 健康測定・アセスメント 医療統計学 課題研究			医学科学特論 生活習慣病予防論 生活習慣病診断・治療の前臨床開 発 健康測定・アセスメント 医療統計学 課題研究			医学科学特論 生活習慣病予防論 生活習慣病診断・治療の前臨床開 発 健康測定・アセスメント 医療統計学 課題研究 臨床疫学 生物統計学 医療管理学 健康危機管理論 国際保健論 医療経済・テクノロジーア セスメント 医療政策論 医療倫理学(腫瘍学にお ける情報システム)
専	教授	平尾 智広 <平成28年4月>	専	教授	平尾 智広 <平成28年4月>	専	教授	平尾 智広 <平成28年4月>	専	教授	平尾 智広 <平成28年4月>
		医学科学特論 臨床疫学 生物統計学 医療管理学 健康危機管理論 国際保健論 医療経済・テクノロジーア セスメント 医療政策論 医療倫理学・医療経済学 課題研究			医学科学特論 臨床疫学 生物統計学 医療管理学 健康危機管理論 国際保健論 医療経済・テクノロジーア セスメント 医療政策論 医療倫理学・医療経済学 課題研究			医学科学特論 臨床疫学 生物統計学 医療管理学 健康危機管理論 国際保健論 医療経済・テクノロジーア セスメント 医療政策論 医療倫理学・医療経済学 課題研究			医学科学特論 臨床疫学 生物統計学 医療管理学 健康危機管理論 国際保健論 医療経済・テクノロジーア セスメント 医療政策論 医療倫理学・医療経済学 課題研究
専	講師	依田 健志 <平成28年4月>	専	講師	依田 健志 <平成28年4月>	専	講師	依田 健志 <平成28年4月>	専	講師	依田 健志 <平成28年4月>
		臨床疫学 生物統計学 医療管理学 健康危機管理論 国際保健論 医療経済・テクノロジーア セスメント 医療政策論 医療情報学(腫瘍学にお ける情報システム) 睡眠(終夜脳波システム)の臨床 開発 認知症診断の技術研究 治療合併症・支持療法、緩和治療 がん緩和治療 臓器別がん治療各論			臨床疫学 生物統計学 医療管理学 健康危機管理論 国際保健論 医療経済・テクノロジーア セスメント 医療政策論 医療情報学(腫瘍学にお ける情報システム)			臨床疫学 生物統計学 医療管理学 健康危機管理論 国際保健論 医療経済・テクノロジーア セスメント 医療政策論 医療情報学(腫瘍学にお ける情報システム)			臨床疫学 生物統計学 医療管理学 健康危機管理論 国際保健論 医療経済・テクノロジーア セスメント 医療政策論 医療情報学(腫瘍学にお ける情報システム)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>									
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	木下 博之 <平成28年4月>									
		法医学特論 死因究明技術の開発 課題研究			法医学特論 死因究明技術の開発 課題研究			法医学特論 死因究明技術の開発 課題研究			法医学特論 死因究明技術の開発 課題研究
専	教授	門脇 則光 <平成28年4月>									
		血液病学(血液・造血器・リンパ) 免疫・アレルギー疾患学 呼吸器病学 治療法概論 がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 臓器別がん治療各論 課題研究			血液病学(血液・造血器・リンパ) 免疫・アレルギー疾患学 呼吸器病学 治療法概論 がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 臓器別がん治療各論 課題研究			血液病学(血液・造血器・リンパ) 免疫・アレルギー疾患学 呼吸器病学 治療法概論 がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 臓器別がん治療各論 課題研究			血液病学(血液・造血器・リンパ) 免疫・アレルギー疾患学 呼吸器病学 治療法概論 がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 臓器別がん治療各論 課題研究
専	教授	南野 哲男 <平成28年4月>									
		脂質異常症と心血管病 食塩感受性高血圧モデルの臨床応用 腎・泌尿器病学 循環器病学 老年腫瘍学 課題研究			脂質異常症と心血管病 食塩感受性高血圧モデルの臨床応用 腎・泌尿器病学 循環器病学 老年腫瘍学 課題研究			脂質異常症と心血管病 食塩感受性高血圧モデルの臨床応用 腎・泌尿器病学 循環器病学 老年腫瘍学 課題研究			脂質異常症と心血管病 食塩感受性高血圧モデルの臨床応用 腎・泌尿器病学 循環器病学 老年腫瘍学 課題研究 医科学概論 医科学特論 研究・生命倫理 医療倫理
専	准教授	大森 浩二 <平成28年4月>									
		脂質異常症と心血管病 食塩感受性高血圧モデルの臨床応用 循環器病学									
専	教授	正木 勉 <平成28年4月>									
		医科学特論 癌とマイクロRNA 癌と遺伝子異常 消化器病学 がん疫学論 治療法概論 臓器別がん治療各論 課題研究			医科学特論 癌とマイクロRNA 癌と遺伝子異常 消化器病学 がん疫学論 治療法概論 臓器別がん治療各論 課題研究			医科学特論 癌とマイクロRNA 癌と遺伝子異常 消化器病学 がん疫学論 治療法概論 臓器別がん治療各論 課題研究			医科学特論 癌とマイクロRNA 癌と遺伝子異常 消化器病学 がん疫学論 治療法概論 臓器別がん治療各論 課題研究
専	准教授	出口 一志 <平成28年4月>									
		癌とマイクロRNA 癌と遺伝子異常 神経病学 消化器病学 臓器別がん治療各論			癌とマイクロRNA 癌と遺伝子異常 神経病学 消化器病学 臓器別がん治療各論			癌とマイクロRNA 癌と遺伝子異常 神経病学 消化器病学 臓器別がん治療各論			癌とマイクロRNA 癌と遺伝子異常 神経病学 消化器病学 臓器別がん治療各論
専	教授	窪田 泰夫 <平成28年4月>									
		医科学概論 臨床アウトカムとしてのQOL評価の応用 臨床アウトカムとしての画像解析システム 皮膚病学 課題研究			医科学概論 臨床アウトカムとしてのQOL評価の応用 臨床アウトカムとしての画像解析システム 皮膚病学 課題研究			医科学概論 臨床アウトカムとしてのQOL評価の応用 臨床アウトカムとしての画像解析システム 皮膚病学 課題研究			医科学概論 臨床アウトカムとしてのQOL評価の応用 臨床アウトカムとしての画像解析システム 皮膚病学 課題研究
専	教授	中村 祐 <平成28年4月>									
		睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発 認知症診断の技術研究 神経病学 精神病学 がん緩和治療 課題研究			睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発 認知症診断の技術研究 神経病学 精神病学 がん緩和治療 課題研究			睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発 認知症診断の技術研究 神経病学 精神病学 がん緩和治療 課題研究			睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発 認知症診断の技術研究 神経病学 精神病学 がん緩和治療 課題研究
専	准教授	角 徳文 <平成28年4月>									
		睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発 認知症診断の技術研究 神経病学 精神病学 がん緩和治療			睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発 認知症診断の技術研究 神経病学 精神病学 がん緩和治療			睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発 認知症診断の技術研究 神経病学 精神病学 がん緩和治療			睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発 認知症診断の技術研究 神経病学 精神病学 がん緩和治療

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	日下 隆 <平成28年4月>	日下 隆 <平成28年4月>	日下 隆 <平成28年4月>	日下 隆 <平成28年4月>
		医学概論 医学特論 発達神経科学 周産期の脳発達と子供の健康 高速液体クロマトグラフィーの臨床応用 近赤外線分光法を用いた臨床研究 小児科学 課題研究	医学概論 医学特論 発達神経科学 周産期の脳発達と子供の健康 高速液体クロマトグラフィーの臨床応用 近赤外線分光法を用いた臨床研究 小児科学 課題研究	医学概論 医学特論 発達神経科学 周産期の脳発達と子供の健康 高速液体クロマトグラフィーの臨床応用 近赤外線分光法を用いた臨床研究 小児科学 課題研究	医学概論 医学特論 発達神経科学 周産期の脳発達と子供の健康 高速液体クロマトグラフィーの臨床応用 近赤外線分光法を用いた臨床研究 小児科学 課題研究
専	准教授	岡田 仁 <平成28年4月>	岡田 仁 <平成28年4月>	岡田 仁 <平成28年4月>	岡田 仁 <平成28年4月>
		医学概論 医学特論 薬理学特論 高速液体クロマトグラフィーの臨床応用 近赤外線分光法を用いた臨床研究 小児科学	医学概論 医学特論 薬理学特論 高速液体クロマトグラフィーの臨床応用 近赤外線分光法を用いた臨床研究 小児科学	医学概論 医学特論 薬理学特論 高速液体クロマトグラフィーの臨床応用 近赤外線分光法を用いた臨床研究 小児科学	医学概論 医学特論 薬理学特論 高速液体クロマトグラフィーの臨床応用 近赤外線分光法を用いた臨床研究 小児科学
専	教授	秦 利之 <平成28年4月>	秦 利之 <平成28年4月>	秦 利之 <平成28年4月>	秦 利之 <平成28年4月>
		医学概論 母子周産期医学 課題研究	医学概論 母子周産期医学 課題研究	医学概論 母子周産期医学 課題研究	医学概論 母子周産期医学 課題研究
専	准教授	田中 宏和 <平成28年4月>	田中 宏和 <平成28年4月>	田中 宏和 <平成28年4月>	田中 宏和 <平成28年4月>
		母子周産期医学 臓器別がん治療各論	母子周産期医学 臓器別がん治療各論	母子周産期医学	母子周産期医学
専	教授	堀井 泰浩 <平成28年4月>	堀井 泰浩 <平成28年4月>	堀井 泰浩 <平成28年4月>	堀井 泰浩 <平成28年4月>
		循環器病学 課題研究	循環器病学 課題研究	循環器病学 課題研究	循環器病学 課題研究
専	准教授	山下 洋一 <平成28年4月>	山下 洋一 <平成28年4月>	山下 洋一 <平成28年4月>	山下 洋一 <平成28年4月>
		呼吸循環生理学 循環器病学	呼吸循環生理学 循環器病学	呼吸循環生理学 循環器病学	呼吸循環生理学 循環器病学
専	教授	鈴木 康之 <平成28年4月>	鈴木 康之 <平成28年4月>	鈴木 康之 <平成28年4月>	鈴木 康之 <平成28年4月>
		消化器病学 医療倫理学・医療経済学 臓器別がん治療各論 課題研究	消化器病学 医療倫理学・医療経済学 臓器別がん治療各論 課題研究	消化器病学 医療倫理学・医療経済学 臓器別がん治療各論 課題研究	消化器病学 医療倫理学・医療経済学 臓器別がん治療各論 課題研究
専	教授	横見瀬 裕保 <平成28年4月>	横見瀬 裕保 <平成28年4月>	横見瀬 裕保 <平成28年4月>	横見瀬 裕保 <平成28年4月>
		医学概論 医学特論 呼吸器病学 治療法概論 医療倫理学・医療経済学 臓器別がん治療各論 課題研究	医学概論 医学特論 呼吸器病学 治療法概論 医療倫理学・医療経済学 臓器別がん治療各論 課題研究	医学概論 医学特論 呼吸器病学 治療法概論 医療倫理学・医療経済学 臓器別がん治療各論 課題研究	医学概論 医学特論 呼吸器病学 治療法概論 医療倫理学・医療経済学 臓器別がん治療各論 課題研究
専	准教授	紺谷 桂一 <平成28年4月>	紺谷 桂一 <平成28年4月>	紺谷 桂一 <平成28年4月>	紺谷 桂一 <平成28年4月>
		乳腺内分泌外科学 治療法概論 臓器別がん治療各論	乳腺内分泌外科学 治療法概論 臓器別がん治療各論	乳腺内分泌外科学 治療法概論 臓器別がん治療各論	乳腺内分泌外科学 治療法概論 臓器別がん治療各論
専	教授	山本 哲司 <平成28年4月>	山本 哲司 <平成28年4月>	山本 哲司 <平成28年4月>	山本 哲司 <平成28年4月>
		骨軟部腫瘍研究の臨床応用 運動器病学 臨床検査、病理、放射線診断学 臓器別がん治療各論 課題研究	骨軟部腫瘍研究の臨床応用 運動器病学 臨床検査、病理、放射線診断学 臓器別がん治療各論 課題研究	骨軟部腫瘍研究の臨床応用 運動器病学 臨床検査、病理、放射線診断学 臓器別がん治療各論 課題研究	骨軟部腫瘍研究の臨床応用 運動器病学 臨床検査、病理、放射線診断学 臓器別がん治療各論 課題研究
専	准教授	真柴 賛 <平成28年4月>	真柴 賛 <平成28年4月>	真柴 賛 <平成28年4月>	真柴 賛 <平成28年4月>
		骨軟部腫瘍研究の臨床応用 運動器病学	骨軟部腫瘍研究の臨床応用 運動器病学	骨軟部腫瘍研究の臨床応用 運動器病学 形態機能学	骨軟部腫瘍研究の臨床応用 運動器病学 形態機能学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>									
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	田中 嘉雄 <平成28年4月> 形成外科におけるバイオイメージング 医工融合による医療機器開発 形態機能学 課題研究	専	教授	田中 嘉雄 <平成28年4月> 形成外科におけるバイオイメージング 医工融合による医療機器開発 形態機能学 課題研究	専	教授		専	教授	
専	准教授	永竿 智久 <平成28年4月> 形成外科におけるバイオイメージング 医工融合による医療機器開発 形態機能学	専	准教授	永竿 智久 <平成28年4月> 形成外科におけるバイオイメージング 医工融合による医療機器開発 形態機能学	専	教授	永竿 智久 <平成28年4月> 形成外科におけるバイオイメージング 医工融合による医療機器開発 形態機能学 課題研究	専	教授	永竿 智久 <平成28年4月> 形成外科におけるバイオイメージング 医工融合による医療機器開発 形態機能学 課題研究
専	教授	寛 善行 <平成28年4月> 医科学特論 前立腺がんの新規マーカーの開発 低侵襲手術術式の開発 課題研究									
専	教授	田宮 隆 <平成28年4月> 脳神経外科学 課題研究									
専	准教授	三宅 啓介 <平成28年4月> iPS細胞の応用 脳神経外科学 臓器別がん治療各論									
専	教授	辻川 明孝 <平成28年4月> 医科学特論 神経保護薬の臨床開発 眼病学 課題研究	専	教授	辻川 明孝 <平成28年4月> 医科学特論 神経保護薬の臨床開発 眼病学 課題研究						
専	准教授	廣岡 一行 <平成28年4月> 医科学特論 神経保護薬の臨床開発 眼病学									
専	教授	星川 広史 <平成28年4月> 中耳・内耳バイオイメージング 希少糖医学 頭頸部病学 耳鼻咽喉疾患学 臓器別がん治療各論 課題研究									
専	准教授	宮下 武憲 <平成28年4月> 中耳・内耳バイオイメージング 頭頸部病学 耳鼻咽喉疾患学									
専	教授	西山 佳宏 <平成28年4月> 分子イメージングの臨床応用 放射線医学 検査、診断法概論 課題研究									
専	准教授	山本 由佳 <平成28年4月> 分子イメージングの臨床応用 放射線医学 臨床検査、病理、放射線診断学									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	白神 豪太郎 ＜平成28年4月＞	専	教授	白神 豪太郎 ＜平成28年4月＞	専	教授	白神 豪太郎 ＜平成28年4月＞	専	教授	白神 豪太郎 ＜平成28年4月＞
		痛み学 呼吸循環制御学 がん緩和治療 課題研究			痛み学 呼吸循環制御学 がん緩和治療 課題研究			痛み学 呼吸循環制御学 がん緩和治療 課題研究			痛み学 呼吸循環制御学 がん緩和治療 課題研究
専	准教授	中條 浩介 ＜平成28年4月＞	専	准教授	中條 浩介 ＜平成28年4月＞	専	准教授	中條 浩介 ＜平成28年4月＞	専	准教授	中條 浩介 ＜平成28年4月＞
		治療合併症、支持療法、緩和治療 がんの心理社会的側面 医療対話学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療			治療合併症、支持療法、 緩和治療 がんの心理社会的側面 医療対話学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療			治療合併症、支持療法、 緩和治療 がんの心理社会的側面 医療対話学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療			治療合併症、支持療法、緩和 治療 がんの心理社会的側面 医療対話学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療
専	教授	黒田 泰弘 ＜平成28年4月＞	専	教授	黒田 泰弘 ＜平成28年4月＞	専	教授	黒田 泰弘 ＜平成28年4月＞	専	教授	黒田 泰弘 ＜平成28年4月＞
		救急・生体侵襲制御 災害医療・災害医学 救急救命医学 課題研究			救急・生体侵襲制御 災害医療・災害医学 救急救命医学 課題研究			救急・生体侵襲制御 災害医療・災害医学 救急救命医学 課題研究			救急・生体侵襲制御 災害医療・災害医学 救急救命医学 課題研究
専	教授	三宅 実 ＜平成28年4月＞	専	教授	三宅 実 ＜平成28年4月＞	専	教授	三宅 実 ＜平成28年4月＞	専	教授	三宅 実 ＜平成28年4月＞
		口腔病学 課題研究			口腔病学 課題研究			口腔病学 課題研究			口腔病学 課題研究
専	准教授	大林 由美子 ＜平成28年4月＞	専	准教授	大林 由美子 ＜平成28年4月＞	専	准教授	大林 由美子 ＜平成28年4月＞	専	准教授	大林 由美子 ＜平成28年4月＞
		口腔病学			口腔病学			口腔病学			口腔病学
専	教授	村尾 孝児 ＜平成28年4月＞	専	教授	村尾 孝児 ＜平成28年4月＞	専	教授	村尾 孝児 ＜平成28年4月＞	専	教授	村尾 孝児 ＜平成28年4月＞
		医科学特論 希少糖科学特論 動脈硬化症への遺伝子治療 生活習慣病学 内分泌代謝学 糖尿病学 課題研究			医科学特論 希少糖科学特論 動脈硬化症への遺伝子 治療 生活習慣病学 内分泌代謝学 糖尿病学 課題研究			医科学特論 希少糖科学特論 動脈硬化症への遺伝子 治療 生活習慣病学 内分泌代謝学 糖尿病学 課題研究			医科学特論 希少糖科学特論 動脈硬化症への遺伝子治 療 生活習慣病学 内分泌代謝学 糖尿病学 課題研究
専	准教授	井町 仁美 ＜平成28年4月＞	専	准教授	井町 仁美 ＜平成28年4月＞	専	准教授	井町 仁美 ＜平成28年4月＞	専	准教授	井町 仁美 ＜平成28年4月＞
		医科学特論 動脈硬化症への遺伝子治療 内分泌代謝学 糖尿病学 検査、診断法概論			医科学特論 動脈硬化症への遺伝子 治療 内分泌代謝学 糖尿病学 検査、診断法概論			医科学特論 動脈硬化症への遺伝子 治療 内分泌代謝学 糖尿病学 検査、診断法概論			医科学特論 動脈硬化症への遺伝子治 療 内分泌代謝学 糖尿病学 検査、診断法概論 分子内分泌学
専	教授	辻 晃仁 ＜平成28年4月＞	専	教授	辻 晃仁 ＜平成28年4月＞	専	教授	辻 晃仁 ＜平成28年4月＞	専	教授	辻 晃仁 ＜平成28年4月＞
		臨床研究論 治療法概論 治療合併症、支持療法、緩和治療 臓器別がん治療各論 がん緩和治療 臨床腫瘍学 課題研究			臨床研究論 治療法概論 治療合併症、支持療法、 緩和治療 臓器別がん治療各論 がん緩和治療 臨床腫瘍学 課題研究			臨床研究論 治療法概論 治療合併症、支持療法、 緩和治療 臓器別がん治療各論 がん緩和治療 臨床腫瘍学 課題研究			臨床研究論 治療法概論 治療合併症、支持療法、緩和 治療 臓器別がん治療各論 がん緩和治療 臨床腫瘍学 課題研究
専	准教授	久富 信之 ＜平成28年4月＞	専	准教授	久富 信之 ＜平成28年4月＞	専	准教授	久富 信之 ＜平成28年4月＞	専	准教授	久富 信之 ＜平成28年4月＞
		核医学画像解析 課題研究			核医学画像解析 課題研究			核医学画像解析 課題研究 形成外科におけるパ イオイメージング 医工融合による医療 機器開発			核医学画像解析 課題研究 形成外科におけるパ イオイメージング 医工融合による医療 機器 開発
専	教授	和田 健司 ＜平成28年4月＞	専	教授	和田 健司 ＜平成28年4月＞	専	教授	和田 健司 ＜平成28年4月＞	専	教授	和田 健司 ＜平成28年4月＞
		医用有機化学特論 医用分析化学特論 課題研究			医用有機化学特論 医用分析化学特論 課題研究			医用有機化学特論 医用分析化学特論 課題研究			医用有機化学特論 医用分析化学特論 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	山本 融 <平成28年4月>
		医科学概論 神経細胞生物学特論 精神神経疾患の創薬科学 課題研究
専	教授	岡田 宏基 <平成28年4月>
		医学教育学特論 医療倫理 感染症学 血液病学(血液・造血器・リンパ) 課題研究
専	准教授	西屋 克己 <平成28年4月>
		医学教育学特論
専	講師	坂東 修二 <平成28年4月>
		呼吸器病学 治療法概論 治療合併症、支持療法、緩和治療 がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療 がんの心理社会的側面 医療対話学
専	教授	舛形 尚 <平成28年4月>
		地域医療学 がん疫学論 医療対話学 医療情報学(腫瘍学における情報システム) 課題研究
専	准教授	岡野 圭一 <平成28年4月>
		臓器別がん治療各論
専	准教授	杉元 幹史 <平成28年4月>
		腎・泌尿器病学 臓器別がん治療各論
専	准教授	臼杵 尚志 <平成28年4月>
		臓器別がん治療各論 がん緩和治療
専	教授	柴田 徹 <平成28年4月>
		治療法概論 放射線治療法 放射線腫瘍学 課題研究
専	准教授	羽場 礼次 <平成28年4月>
		病理診断学の臨床応用 検査、診断法概論 臨床検査、病理、放射線診断学 課題研究
専	教授	横井 英人 <平成28年4月>
		医科学概論 医療対話学 医療情報学(腫瘍学における情報システム) 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	山本 融 <平成28年4月>
		医科学概論 神経細胞生物学特論 精神神経疾患の創薬科学 課題研究
専	教授	岡田 宏基 <平成28年4月>
		医学教育学特論 医療倫理 感染症学 血液病学(血液・造血器・リンパ) 課題研究
専	准教授	西屋 克己 <平成28年4月>
		医学教育学特論
専	講師	坂東 修二 <平成28年4月>
		呼吸器病学 治療法概論 治療合併症、支持療法、緩和治療 がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療 がんの心理社会的側面 医療対話学
専	教授	舛形 尚 <平成28年4月>
		地域医療学 がん疫学論 医療対話学 医療情報学(腫瘍学における情報システム) 課題研究
専	准教授	岡野 圭一 <平成28年4月>
		臓器別がん治療各論
専	准教授	杉元 幹史 <平成28年4月>
		腎・泌尿器病学 臓器別がん治療各論
専	准教授	臼杵 尚志 <平成28年4月>
		臓器別がん治療各論 がん緩和治療
専	教授	柴田 徹 <平成28年4月>
		治療法概論 放射線治療法 放射線腫瘍学 課題研究
専	准教授	羽場 礼次 <平成28年4月>
		病理診断学の臨床応用 検査、診断法概論 臨床検査、病理、放射線診断学 課題研究
専	教授	横井 英人 <平成28年4月>
		医科学概論 医療対話学 医療情報学(腫瘍学における情報システム) 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	山本 融 <平成28年4月>
		医科学概論 神経細胞生物学特論 精神神経疾患の創薬科学 課題研究
専	教授	岡田 宏基 <平成28年4月>
		医学教育学特論 医療倫理 感染症学 血液病学(血液・造血器・リンパ) 課題研究
専	准教授	坂東 修二 <平成28年4月>
		呼吸器病学 治療法概論 治療合併症、支持療法、緩和治療 がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療 がんの心理社会的側面 医療対話学
専	教授	舛形 尚 <平成28年4月>
		地域医療学 がん疫学論 医療対話学 医療情報学(腫瘍学における情報システム) 課題研究
専	准教授	岡野 圭一 <平成28年4月>
		臓器別がん治療各論
専	准教授	杉元 幹史 <平成28年4月>
		腎・泌尿器病学 臓器別がん治療各論
専	准教授	臼杵 尚志 <平成28年4月>
		臓器別がん治療各論 がん緩和治療
専	教授	柴田 徹 <平成28年4月>
		治療法概論 放射線治療法 放射線腫瘍学 課題研究
専	准教授	羽場 礼次 <平成28年4月>
		病理診断学の臨床応用 検査、診断法概論 臨床検査、病理、放射線診断学 課題研究
専	教授	横井 英人 <平成28年4月>
		医科学概論 医療対話学 医療情報学(腫瘍学における情報システム) 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	山本 融 <平成28年4月>
		医科学概論 神経細胞生物学特論 精神神経疾患の創薬科学 課題研究 神経生理学
専	教授	岡田 宏基 <平成28年4月>
		医学教育学特論 医療倫理 感染症学 血液病学(血液・造血器・リンパ) 課題研究
専	准教授	坂東 修二 <平成28年4月>
		呼吸器病学 治療法概論 治療合併症、支持療法、緩和治療 がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療 がんの心理社会的側面 医療対話学
専	教授	舛形 尚 <平成28年4月>
		地域医療学 がん疫学論 医療対話学 医療情報学(腫瘍学における情報システム) 課題研究
専	准教授	岡野 圭一 <平成28年4月>
		臓器別がん治療各論
専	准教授	杉元 幹史 <平成28年4月>
		腎・泌尿器病学 臓器別がん治療各論 前立腺がんの新規マーカーの開発 低侵襲手術式の開発 医科学特論 課題研究
専	准教授	臼杵 尚志 <平成28年4月>
		臓器別がん治療各論 がん緩和治療
専	教授	柴田 徹 <平成28年4月>
		治療法概論 放射線治療法 放射線腫瘍学 課題研究
専	准教授	羽場 礼次 <平成28年4月>
		病理診断学の臨床応用 検査、診断法概論 臨床検査、病理、放射線診断学 課題研究
専	教授	横井 英人 <平成28年4月>
		医科学概論 医療対話学 医療情報学(腫瘍学における情報システム) 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	芳地 一 <平成28年4月>
		薬学 課題研究
専	准教授	松原 修司 <平成28年5月>
		高齢者医療学 がん緩和治療

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	芳地 一 <平成28年4月>
		薬学 課題研究
専	准教授	松原 修司 <平成28年5月>
		高齢者医療学 がん緩和治療
専	講師	申田 吉生 <平成28年4月>
		検査、診断法概論 臨床検査、病理、放射線診断学
専	講師	山上 有紀 <平成28年4月>
		治療合併症、支持療法、緩和治療 がん緩和治療
専	講師	呉 哲彦 <平成28年4月>
		臓器別がん治療各論
専	講師	藤原 理朗 <平成28年4月>
		臓器別がん治療各論
専	講師	安藤 延男 <平成28年4月>
		がん緩和治療 睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発 認知症診断の技術研究 治療合併症、支持療法、緩和治療
専	講師	野間 貴久 <平成28年4月>
		脂質異常症と心血管病 食塩感受性高血圧モデルの臨床応用 循環器病学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	芳地 一 <平成28年4月>
		薬学 課題研究
専	准教授	松原 修司 <平成28年5月>
		高齢者医療学 がん緩和治療
専	講師	申田 吉生 <平成28年4月>
		検査、診断法概論 臨床検査、病理、放射線診断学
専	講師	山上 有紀 <平成28年4月>
		治療合併症、支持療法、緩和治療 がん緩和治療
専	講師	呉 哲彦 <平成28年4月>
		臓器別がん治療各論 呼吸器病学
専	講師	藤原 理朗 <平成28年4月>
		臓器別がん治療各論
専	講師	安藤 延男 <平成28年4月>
		がん緩和治療 睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発 認知症診断の技術研究 治療合併症、支持療法、緩和治療 医療対話学
専	准教授	野間 貴久 <平成28年4月>
		脂質異常症と心血管病 食塩感受性高血圧モデルの臨床応用 循環器病学 循環生理シグナル伝達学
専	准教授	下野 隆一 <平成29年4月>
		小児外科学 臨床栄養・微生物学 課題研究
専	准教授	金西 賢治 <平成29年4月>
		臓器別がん治療各論
専	講師	加地 良雄 <平成29年4月>
		がんの心理社会的側面

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	芳地 一 <平成28年4月>
		薬学 課題研究
専	准教授	松原 修司 <平成28年5月>
		高齢者医療学 がん緩和治療
専	講師	申田 吉生 <平成28年4月>
		検査、診断法概論 臨床検査、病理、放射線診断学
専	講師	山上 有紀 <平成28年4月>
		治療合併症、支持療法、緩和治療 がん緩和治療
専	講師	呉 哲彦 <平成28年4月>
		臓器別がん治療各論 呼吸器病学
専	講師	安藤 延男 <平成28年4月>
		がん緩和治療 睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発 認知症診断の技術研究 治療合併症、支持療法、緩和治療 医療対話学
専	准教授	野間 貴久 <平成28年4月>
		脂質異常症と心血管病 食塩感受性高血圧モデルの臨床応用 循環器病学 循環生理シグナル伝達学
専	准教授	下野 隆一 <平成29年4月>
		小児外科学 臨床栄養・微生物学 課題研究
専	准教授	金西 賢治 <平成29年4月>
		臓器別がん治療各論
専	講師	加地 良雄 <平成29年4月>
		がんの心理社会的側面

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	今滝 修 <平成29年4月>
		がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療 治療法概論 治療合併症、支持療法、緩和治療

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	今滝 修 <平成29年4月>
		がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療 治療法概論 治療合併症、支持療法、緩和治療
専	教授	藤原 祐一郎 <平成30年4月>
		神経生理学 生体分子センサー特論 医科学特論 医科学概論 課題研究
専	講師	隈元 謙介 <平成30年4月>
		臓器別がん治療各論

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

- 平成28年4月1日 三宅克也准教授未就任(平成28年3月31日)のため、担当科目を横平政直准教授に変更。
- 平成28年4月1日 大森浩二准教授未就任(平成28年3月31日)のため、担当科目を野間貴久准教授に変更。
- 平成28年4月1日 指導体制充実のため、一部の担当科目を、千葉陽一講師から串田吉生講師、山上有紀講師、呉哲彦講師に変更。
- 平成28年4月1日 指導体制充実のため、一部の担当科目を、依田健志講師から安藤延男講師、藤原理朗講師へ担当教員の変更。

【平成29年度】

- 平成28年9月30日 田中嘉雄教授辞任のため、担当科目を久富信之准教授、真柴賢准教授、永年智久教授に変更。
- 平成29年2月28日 辻川明孝教授辞任。(後任補充を検討中)
- 平成29年4月1日 五十嵐淳介准教授辞任(平成29年3月31日)のため、担当科目を中北慎一准教授、野間貴久准教授、西望准教授に変更。
- 平成29年4月1日 指導体制充実のため、田中宏和准教授から金西賢治准教授に担当科目を変更。
- 平成29年4月1日 教育課程充実のため、下野隆一准教授追加。(「小児外科学」、「臨床栄養・微生物学」の担当教員として追加)
- 平成29年4月1日 永年智久教授昇任。
- 平成29年5月1日 西屋克己准教授辞任(平成29年3月31日)のため、担当科目を坂東修二准教授に変更。
- 平成29年5月1日 坂東修二講師が准教授に昇任したため、担当科目を呉哲彦講師、今滝修講師、加地良雄講師、安藤延男講師に変更。

【平成30年度】

- 平成29年10月1日 学長就任(平成29年9月30日)のため、寛善行教授辞任。一部の担当科目を杉元幹史准教授に変更。(後任補充予定)
- 平成30年4月1日 西望准教授定年退職(平成30年3月31日)のため、担当科目を井町仁美准教授、中北慎一准教授に変更。
- 平成30年4月1日 教育課程充実のため、藤原祐一郎教授追加。(「生体分子センサー特論」、「神経生理学」の担当教員として追加)
- 平成30年4月1日 徳田雅明教授退職(平成30年3月31日)のため、担当科目を星野克明教授、新井明治准教授、西山成教授、藤原祐一郎教授、山本融教授に変更。
- 平成30年4月1日 依田健志講師辞任(平成30年3月31日)のため、担当科目を宮武伸行准教授に変更。
- 平成30年4月1日 山口文徳准教授辞任(平成30年3月31日)のため、担当科目を新井明治准教授、西山成教授、山本融教授に変更。
- 平成30年4月1日 藤原理郎講師辞任(平成30年3月31日)のため、担当科目を隈元謙介講師に変更。
- 平成31年3月31日 今井田克己教授定年退職予定のため、平成31年4月に専任教員を採用予定。
- 平成31年3月31日 秦利之教授定年退職予定のため、平成31年4月に専任教員を採用予定。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **縦書きで設置された学師等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
30 名	20 名	30 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
44	35	3		82	42	32	8	0	82	44	34	9	0	87
(44)	(33)	(9)		(86)						[]	[Δ1]	[6]	[]	[5]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
54	28	0			54	28	0			54	33	0		
(54)	(32)	()								[]	[5]	[]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上 記（C））の教員 うち、定年を延長 して採用する教員 数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)} \div \text{設置時の計画(A)} = \frac{87}{82} = \boxed{106.09} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{82} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	准教授	三宅 克也	選択	分子形態学特論	①	他大学への異動のため (28)				
			選択	組織細胞科学特論	①					
			選択	バイオイメージング技術の開発・応用	①					
2	准教授	大森 浩二	選択	脂質異常症と心血管病	①	他病院への異動のため (28)				
			選択	食塩感受性高血圧モデルの臨床応用	①					
			選択	循環器病学	①					
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	田中 嘉雄	選択	形成外科におけるバイオイメージング	①	平成28年9月30日付け他病院へ異動のため辞任 (29)				
			選択	医工融合による医療機器開発	①					
			選択	形態機能学	①					
			必修	課題研究	①					
2	教授	辻川 明孝	必修	医科学特論	③	平成29年2月28日付け他大学へ異動のため辞任 (29)				
			選択	神経保護薬の臨床開発	③					
			選択	眼病学	③					
3	准教授	五十嵐淳介	必修	医科学特論	①	平成29年3月31日付け他大学へ異動のため辞任 (29)				
			選択	循環生理シグナル伝達学	①					
			選択	細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ	①					
4	准教授	西屋 克己	選択	医学教育学特論	①	平成29年3月31日付け他大学へ異動のため辞任 (29)				
5	教授	寛 善行	必修	医科学概論	①	平成29年9月30日付け学長就任のため辞任 (30)				
			選択	前立腺がんの新規マーカーの開発	①					
			選択	低侵襲手術術式の開発	①					
			必修	課題研究	①					
6	准教授	山口 文徳	必修	医科学特論	①	平成30年3月31日付け他大学へ異動のため辞任 (30)				
			必修	希少糖科学特論	①					
			選択	希少糖の機能	①					
			選択	神経生理学	①					
			選択	希少糖と生活習慣病	①					
7	講師	依田 健志	選択	臨床疫学	①	平成30年3月31日付け他大学へ異動のため辞任 (30)				
			選択	生物統計学	①					
			選択	医療管理学	①					
			選択	健康危機管理論	①					
			選択	国際保健論	①					
			選択	医療経済・テクノロジーアセスメント	①					
			選択	医療政策論	①					
8	講師	藤原 理郎	選択	臓器別がん治療各論	①	平成30年3月31日付け他病院へ異動のため辞任 (30)				
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
8	人	必修	8	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	22	科目	選択	20	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	30	科目	計	26	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)				後任補充状況の集計(E)+(G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
10	人	必修	8 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	2 科目
		選択	28 科目	選択	26 科目	選択	0 科目	選択	2 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	36 科目	計	32 科目	計	0 科目	計	4 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{10}{82} = 12.19\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	徳田 雅明	必修	医科学概論	①	平成30年3月31日付け65歳で定年退職(30)			
			必修	医科学特論	①				
			必修	希少糖科学特論	①				
			選択	希少糖の機能	①				
			選択	神経生理学	①				
			選択	希少糖と生活習慣病	①				
			必修	課題研究	①				
2	准教授	西 望	必修	医科学概論	①	平成30年3月31日付け65歳で定年退職(30)			
			必修	医科学特論	①				
			選択	分子内分分泌学	①				
			選択	糖鎖情報と臨床応用	①				
			選択	細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ	①				
必修	課題研究	①							
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2	人	必修	7 科目	必修	7 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	6 科目	選択	6 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	13 科目	計	13 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が辞任した場合でも、大学院としての組織及び各講座として教育体制の維持をしており、学生の履修等への影響はない。学生にはシラバス等にて周知している。
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 該当なし </div>		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<大学院医学系研究科 医学専攻(博士課程)>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>○ 履修方法</p> <p>専門科目は16単位以上のうち、主科目から8単位(主指導教員の開講する科目を1科目以上含む)、副科目(主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えて履修可)から4単位、主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から4単位以上を履修する。</p> <p>○ 科目分類の変更</p> <p>【放射線治療法】 がんプロフェッショナル養成科目群 がん専門共通科目</p>	<p>○ 履修方法</p> <p>がんプロフェッショナル養成コース選択者は、主科目において共通コアカリキュラム(4単位)とがん専門共通科目(4単位)の履修が必修であるため、主科目から履修科目(8単位)を選択する際に主指導教員の開講する科目を1科目以上含むことが困難なため、除外する。</p> <p>専門科目は16単位以上のうち、主科目から8単位(主指導教員の開講する科目を1科目以上含む。但し、がんプロフェッショナル養成コースは除く。)、副科目(主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えて履修可)から4単位、主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から4単位以上を履修する。</p> <p>○ 科目分類の変更</p> <p>コンソーシアムと調整を行って科目分類を変更する。</p> <p>【放射線治療法】 がんプロフェッショナル養成科目群 がん専門選択科目</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 医学部教育センター FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) 開催回数：年1回 平成30年3月20日開催 委員出席数9名/10名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>議題1 平成30年度FD委員会委員について 議題2 平成29年度FDおよび授業公開実施報告について 議題3 平成30年度FD実施計画(年間スケジュール)について 議題4 新任教員研修プログラムについて 議題5 その他</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>【平成30年度予定FD】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CBTに関するFD ・ 授業公開『生理学Ⅰ』(消化器) ・ 授業公開『医療管理学・診断学』(症例検討会) ・ 授業公開『未定(医学科講義)』
--

- ・授業公開『未定（看護学科講義）』
- ・授業公開『チュートリアル発表会』
- ・医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成30年度 第1回～第5回）
- ・医学部教育センターFD「国家試験対策及び試験問題の作問に関するFD」（仮題）
- ・平成30年度看護学科入試に向けての研修
- ・障害学生に関するFD

b 実施方法 講演会方式

c 開催状況（教員の参加状況含む）

【平成29年度開催状況】

- ・CBTに関するFD 3月21日 67人
- ・授業公開『衛生学』（疫学） 4月14日 12人
- ・医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成29年度 第1回） 4月24日 231人
- ・授業公開「精神看護学概論」 6月9日 14人
- ・GOC+講演会「グローバル化時代をしなやかに生きる - Think Glocally, Act Glocally -」 6月16日 20人
- ・医学教育ワークショップ『診療参加型臨床実習の基礎と実践 6月26日 85人
-教員が同じ目標を見据えた卒前・卒後のシームレスな教育を目指して-』
- ・平成30年度看護学科入試に向けての研修 6月27日 21人
- ・授業公開『チュートリアル発表会』 7月5日 14人
- ・授業公開『医療総合講義（臨床腫瘍学総論）』 7月10日 14人
- ・医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成29年度 第2回） 7月28日 141人
- ・「看護学教育モデル・コア・カリキュラムの背景・概要・考え方」 8月31日 24人
- ・授業公開「皮膚感覚系ユニット」 9月7日 18人
- ・医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成29年度 第3回） 9月29日 187人
- ・GOCシンポジウム「先進地からの学びで知を紡ぎ、香川の地域包括ケアシステムの未来像を語る」
10月20日 16人
- ・GOCシンポジウム「ローカルマインド醸成に必要なマインドとスキル～地域で活躍するプロフェッショナル
から学ぶ～」 11月7日 13人
- ・障害学生に関するFD 11月16日 64人
- ・脱ガラパゴス！医学教育リノベーション ～教育プログラム改革と分野別認証評価を審査して～
11月17日 37人
- ・医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成29年度 第4回） 1月25日 201人
- ・「化学物質リスクアセスメントと化学物質管理支援システムの導入について」の説明会 2月1日 58人
- ・第3回香川大学入試改革フォーラム 2月16日 56人
- ・第3回香川大学入試改革フォーラム（ビデオ上映会） 2月27日 40人
- ・希少糖セミナー 3月6日 76人
- ・医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成29年度 第5回） 3月27日 213人

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

医学部において、教員の資質向上のため、毎年、年間を通じて多様な分野・領域からの講習会を開催している。いずれの講習会も授業担当教員としての責務の再確認に有益なだけでなく、医学教育の基盤を拡充させる新たな取り組みを啓発する内容である。特に医学・生命倫理に関する講習会では、平成29年度全5回で約1000人（病院職員含む）の参加があり、当該分野への意識の高さが伺えると同時に医学部教育の質の向上に寄与していると考えられる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
各科目の終了毎
- b 教員や学生への公開状況, 方法等
アンケート集計結果は教職員HPで公表しフィードバックしている。学生にも紙媒体で公表している。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
従来の3専攻16部門を1専攻2コースにするなどの改組を行い、平成28年度より実施している。改組後の体制では、大学院修了後の進路の多様性に対応することを可能とし、基礎研究者、橋渡し研究者、高度ながん診療エキスパートの養成等、修了後の進路を見据えて設定した各コースに所属する学生を受け入れた。
開設時の准教授2名の未就任等、教員組織の整備に一部滞りが見られたが、講師の追加・後任補充計画の立案等により教育課程の維持・推進には支障を来さぬようにした。
定員については、志願者数今年度35名（入学定員30名）で、前年度の23名を上回った。
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
・年次進行終了後の平成33年度に自己点検評価（大学全体）を実施・公表（予定）
 - b 公表方法
・大学ホームページ上に公開予定
- ③ 認証評価を受ける計画
・平成34年度に機関別認証評価を受けるべく、学内で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
 - a ホームページに公表（予定）の有無 (有 無)
 - b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成 30 年 8 月 1 日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。